

図書紹介

◎**熱帯の土壤**—その保全と再生を目的として— 八木久義著 A5版 164pp.
(財)国際緑化推進センター 1994刊 頒価1,500円

熱帯林の再生や砂漠化の防止のためには基盤である土壤の性質を良く理解して対策を講ずることが望まれるが、熱帯林土壤を中心として書かれた解説書は少ない。本テキストは熱帯林造成を目指す技術者の研修用に編集されたもので一部難解な項目もあるが、初心者でも利用できるように平易に書かれている。

内容は熱帯の土壤を理解するために基本的に必要な事柄について熱帯土壤を中心に書かれている。その構成は、土壤とは何か、生成要因と土壤との関係、土壤のもつ基本的な諸性質、土壤の調べ方、土壤の生成作用及び分類の各章から組立てられている。本テキストの特徴は熱帯地方に分布する土壤の生成作用とともに世界的に取り上げられているアメリカの包括的分類体系とFAO・UNESCOが共同して確立した分類体系に多くのページをさいていることである。熱帯土壤に興味をもつ人に一読されることをお勧めする。(脇 孝介)

◎**熱帯の非木材林産物(熱帯林造成技術テキスト No. 5)** 渡辺弘之著 A6版 108pp. (財)国際緑化推進センター. 東京. 1994. 6. 30刊 頒価1,000円

森林は、木材・薪炭を得る場のみならず、現地住民にとっては衣食住のための直接的な材料を得る場でもあり、しかも森林産物の商業的な採取の場でもある。今日、日常必需品のかなりの部分を森林から得ている人々(森林居住者)は、東南アジアに限っても2,700万人にのぼり、木材の生産高よりもむしろ、森林を保存しつつ、多様な産物を得ていく方が経済的に有利で、しかもより多くの地域住民の生活を支えていくことができるという。非木材林産物(Non wood forest products: NWFPs, 又は Non timber forest products: NTFPs)とは木質部以外の森林産物をいうが、熱帯林には食用・薬用・嗜好品などの原料として既に知られているもの、潜在的価値をもっていて利用できそうなものも多いといわれる。本書では、非木材林産物の定義とその分類の仕方にはじまり、主要な非木材林産物を樹脂、精油、繊維、製紙、タンニン原料・染料、薬用、食用、薪炭、飼料、ラタン、タケ、観賞用植物、沈香・白檀等の特殊木材、ヤシ類の14種に分けてその樹種、生産(採取)方法、利用方法(効用)など、初心者にも極めて分かり易く要領よく解説し、最後に非木材林産物の育成が熱帯林の維持・地域社会の発展に必要なことを説いている。国際林業協力、熱帯林造成に係わる人々は勿論のこと、海外森林資源に多少なりとも関心をもつ一般の方々に一読を進めたい書でもある。(西村勝美)